事例No.	1135
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	滋賀県東近江市

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・事務の共同実施 ・地域運営組織

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度の推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

滋賀県　東近江市（森林経営管理制度の推進）

- 東近江市では、森林の経営や管理が適切に行われていない森林について、市町村が仲介役となって森林所有者と森林組合等林業経営体をつなぎ健全な森林を整備している。集落会議により森林所有者の意向調査を行った上で整備方針を定め、原則として森林経営計画作成により施業集約化を進めています。
- 令和元年度においては、２集落で事前調査から合意形成に係る業務を直営でおこなった。
  - 意向調査　箕川町（267ha）及び君ケ畑（2,078ha）　　ゾーニング案の呈示　箕川町（267ha）

  令和２年度以降は、他の地域でも集落会議による森林所有者の意向調査を行い森林整備方針を定めていく。（３集落　4,093ha）

□　事業内容

1　集落会議の開催、森林のゾーニング

- 東近江市では、森林の経営や管理が適切に行われていない森林について、市町村が仲介役となって森林所有者と森林組合等林業経営体をつなぎ健全な森林を整備している。市では集落会議により森林所有者の意向調査を行い整備方針を定めた。

【事　業　費】3,389千円（全額譲与税）

【実　　績】集落会議による意向調査（２集落×３回）

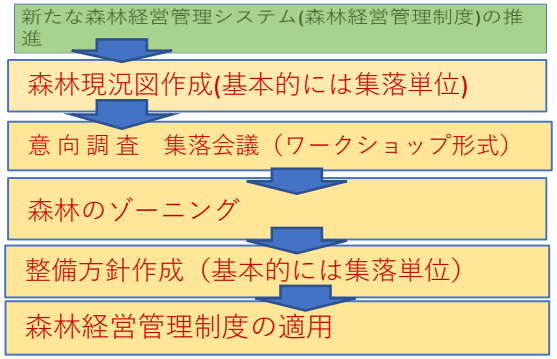


（事業１集落会議の様子）



（事業２：森林現況調査の様子）

□　事業スキーム



□　工夫・留意した点

- 集落会議を行うことで、地域全体で森林の整備方針の合意形成を図った。今後は境界明確化、森林経営計画の樹立を行うことで、可能な限り森林所有者と森林組合の委託業務を中心に森林整備を進めていく。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	11,537千円
②私有林人工林面積（※１）	3,724ha
③林野率（※２）	56.2％
④人口（※３）	114,180人
⑤林業就業者数（※４）	60人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」